

市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年5月17日（金） 14時00分～15時30分

場 所：桜丘学習センター 103 講習室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：8人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 厚木基地の滑走路から近い位置にあり、生活していくうえでの安全確保に関する情報提供を密に行って欲しい。
- ・ 私の家の真上をヘリコプターが飛んでおり、先日の自衛隊ヘリコプター2機の墜落事故もあり、基地が存在する以上、事故の危険性は無くない。
- ・ また、日本飛行機（厚木工場）ではオスプレイの分解整備をしており、国が安全性を説明していない状況で、整備後に飛行するのも危険である。
- ・ （やまとニュースNo.133 2面「一般会計 歳入・歳出の概要」を示して）自主財源、歳入その他24億2,343万円について、その内訳を教えて欲しい。

【市長】

- ・ 厚木基地に関しては大前提として返還がある。
- ・ 安全管理を徹底するよう、今後も国に要請していく。
- ・ 歳入その他に関しては、確認後お伝えする。

【意見】

- ・ 東京から転入してきた子育て世代であるが、東京の友人は大和市のことを知らず、大和市は近隣市と比べても地味だと思う。
- ・ 海老名のららぽーと、南町田のグランベリーパークなどと比べると、大和市は目玉になる施設や名物が知られていないと感じる。
- ・ もっと大和市にあるよいところ、よいものをアピールしてはどうか。
- ・ シリウスはとても素晴らしいが、市外に向けたアピールが足りていない。
- ・ 骨董市には外国人のお客さんも多く、インバウンド向けのアピールがさらにできれば、もっと大きなイベントになる。
- ・ 骨董市の会場となっているプロムナードは、イベント会場としてとてもよいスペースだと思うので、コンセプトが分かりづらかった「市民まつり」も、駅近のプロムナードを会場にすれば、更なる参加が見込めると思う。
- ・ 最近是不登校のお子さんが増えているので、学校の先を見据えて、幸せに暮らしていけるようにするための場と、そこに参加できるような仕組みを考えていただきたい。

【市長】

- ・ やまとニュース（No.133：4面）に掲載した「大和市は災害に強いまち」とい

うことで、これまでのデータが示している。

- ・ 関東大震災において倒壊した建物が約600戸のうち十数件と非常に少なく、厚木基地や鉄道3路線の立地もこの地盤の強さが大きい。
- ・ 地盤の強さに甘んじることなく、様々な災害対策をしており、「災害に強いまち」を発信していく。
- ・ 市民の皆さんの声をお聴きし、広域連携を推進し、職員と話し合いながら、大和市のよいところ、市の強みを活かしたシティセールスに力を入れていく。
- ・ 上瀬谷通信施設跡地の「GREEN EXPO」開催、その後のテーマパークの開業が予定されているので、瀬谷が成功するよう協力しながら一緒に成長していければと考えている。
- ・ プロムナードに関しては、駅前の大きな空間を活かして、市内外から人が集まるような施策を打って出て、稼げる街にしていきたい。
- ・ 稼ぐのは「攻め」で駅前を中心に、大和市はベッドタウンなので住宅街は安心で静かで暮らしやすい「守り」の街づくりをしていく。
- ・ 「市民まつり」はイベント要素が少ないので、皆さんに楽しんでいただける内容にしていく。
- ・ 教育に関しては、市長に権限が集中しないように、中立的で専門的な行政運営を教育委員会が担っている。
- ・ 子どもたちが有意義な学校生活を送ること、不登校であっても不利益が生じないこと、子どもたちに乗り越える力を身に付けて欲しいこと、将来の自立を見据えた教育についてなど、私の思いを教育長に伝えている。
- ・ 不登校や引きこもりの状態は、孤立させてはいけないので、そういった方々の居場所、こころの支援センターのような場所の設置について、広域連携の場で提案しようと考えている。

【意見】

- ・ 国保税と下水道使用料について、物価高が続く中で、なぜ値上げしたのか。
- ・ 下水道使用料の改定に関するパブリックコメントは実施しないのか。

【市長】

- ・ 国保税の値上げについては、12年もの間、税率等の改定を見送ってきた背景があり、赤字の補填は皆さんの税金で行っていた。
- ・ 国保加入率は約2割で、加入していない約8割の方も国保の負担をしていたことから、税の公平性の観点から税率の改定が必要であった。
- ・ また、神奈川県から令和8年度までに赤字補填の解消を求められていることもあり、改定することとなったが、収入の少ない世帯に負担がかからないよう、一定の所得以下の世帯に対して、均等割額と平等割額を軽減するよう対応している。
- ・ 下水道使用料は、コロナ禍の影響もあり6年ほど値上げしなかったもので、汚水処理に必要な費用に対し、下水道使用料が不足する状況が続いており、現在は、不足分を皆さんの税金で補填している。

- ・ これを是正するため、令和7年4月1日から下水道使用料を改定する。
- ・ 改定にあたって、下水道運営審議会へ諮問（令和5年10月31日）、答申（令和6年4月26日）を受けており、今回はパブリックコメントを行っていないが、次回の改定では、パブリックコメントの実施を検討する。
- ・ 下水道処理施設、ごみ焼却施設を広域で維持管理している自治体が多い中で、大和市は単独で維持管理しており、将来的には広域連携により維持管理の経費を抑えていきたい。

【意見】

- ・ 健康都市やまと総合計画や大和市スポーツ推進計画には、実際のスポーツ普及率、実施率、参加率をあげる具体的な成果が出ることがあまり書いていないように見受ける。
- ・ 特に、働き盛りの世代、子育て世代のスポーツ参加率を上げることは、ものすごくハードルの高いことである。
- ・ 興味を持つ人がとても多いバドミントンを例にすると、個人で始めようとしても場所を確保できない、地域のサークルに参加する、経験者に囲まれて初心者は挫折する、という状況に陥ってしまう。
- ・ 個人で初心者向けのバドミントン講習を行っているが、個人で行うことの限界を感じている。
- ・ 以前、市役所に相談に行ったら、スポーツ課を案内され、最終的にバドミントン協会を案内され、協会からは「募集しても集まらない」と言われた。
- ・ 新総合計画の説明でボトムアップによる行政運営という話があったが、私のような個人が意見をした時に、具体化していくことは可能なのか。

【市長】

- ・ 市長になる以前からスポーツ普及と心の健康に取り組んできた。
- ・ 身体を動かすと食事が美味しくなり、ぐっすり眠ることができるだけでなく、ルールや相手を慮る道徳心を育み、人と人の交流も生まれる。
- ・ スポーツする場所が少ないので、環境整備に取り組んでおり、例えば、以前のポラリスは個人利用のみであったが稼働率が低かったので、私が市長になってから団体利用も可能にしている。
- ・ 大人になってから新たにスポーツを始めるのは、とてもハードルが高いので、私は子どもの頃からスポーツに慣れ親しむようにしたいと考えている。
- ・ 子どもたちにスポーツを教えていただける方の登録制度と、放課後児童クラブでスポーツを教えることについて検討している。
- ・ また、部活動の地域移行も検討されており、協力していただける方の窓口を設けていきたいと考えているので、機会があればぜひ協力いただきたい。
- ・ いずれの検討も、具体化には課題があり、時間を要することであることはご理解いただきたい。

【意見】

- ・ 引地台中学校は避難所や投票所になっているのだが、高齢者にとっては東側階段が急過ぎて危険なので、スロープを設置して欲しい。

【市長】

- ・ 引地台中学校東側の階段については、市長になる前から地域の声として伺っており、現場の状況も把握している。
- ・ 予算的だけでなく施設の構造的な課題もあるので、どうしても時間が掛かってしまうが、どのような対応ができるのか検討していく。

【市長指示】

- ・ 歳入その他について、説明すること。
⇒終了後、以下を説明しました。
寄付金 134,424,000 円、財産収入 469,267,000 円、繰越金 1,000,000,000 円
負担金 819,743,000 円の合計額 2,423,434,000。